

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ヴィラ城山	階数	地上6F
建設地	神奈川県綾瀬市早川城山2-13-5	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、準防火	平均居住人員	146 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年9月 予定	評価の実施日	2010年9月24日
敷地面積	3430.97 m ²	作成者	(株)米澤設計
建築面積	1,143 m ²	確認日	2010年9月27日
延床面積	5,890 m ²	確認者	(株)米澤設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: A: B+: B-: C:

環境品質 Q

環境負荷 L

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q1 室内環境

Q3 室外環境(敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

建設 修繕・更新・解体 運用

参照値 100%

評価対象 65%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.7

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合 利用者の利便性、健康性に配慮しバリアフリー化、館内禁煙化を計画している。 敷地内に緑地を計画し良好な景観、環境を形成している		その他 0
Q1 室内環境 開口部遮音性能の高い窓のサッシを採用している。 室内空気質を保つために内装材のほぼ全面にFを採用し、発生源対策を行っており、館内は全面禁煙としている。	Q2 サービス性能 バリアフリーへの配慮をしている。 空調・給排水設備に耐用年数の長い材質を使用しており更新必要間隔が長い。 電気・通信設備に対する信頼度が高い。	Q3 室外環境(敷地内) 適切な緑地づくりを行うとともに、緑地を設けることで景観にも配慮している。
LR1 エネルギー 外皮に断熱材・ペアガラスを使用し建物の熱負荷の低減を図っている。 空調システム、照明システムの高効率化を図っている。	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材の別が比較的容易で部材の再利用の可能性向上に取り組んでいる。 ハロン消火剤を使用していない。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出量の低減を図っている。 管理用・荷捌用の駐車スペースを確保している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい